

## 第56回 ふじみ衛生組合地元協議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年10月22日(月)18時30分から19時30分まで
- 2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 3 委員出欠 出席 22人(欠席者5人)  
出席委員 佐々木善信(会長)、小林義明(副会長)、浅野秀美、石坂卓也、小松日出雄、島田猛、鈴木和夫、武谷宏二、田中一枝、戸田朝子、長瀬輝夫、増田雅則、矢田部正丈、山添登、山田攻、山田知英美  
荻原正樹(副会長)、上野洋樹、大野憲一、岡田賢一郎、星野巖雄、宮崎治  
(名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別50音順)  
事務局 今村好一、岩崎誠、大堀和彦、篁健二  
エコサービスふじみ株式会社 久保寺高広  
パシフィックコンサルタンツ株式会社 吉留雅俊
- 4 次第
  - 1 開会
  - 2 報告事項
    - (1) 第55回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について
    - (2) 施設の運転結果について
      - ① ごみ搬入・灰等搬出(平成30年4月～平成30年9月)について
      - ② 環境測定(平成30年4月～平成30年9月)について
    - (3) クリーンプラザふじみ放射能測定実績(施設稼働後5年間)について
    - (4) 第19回安全衛生専門委員会について
    - (5) リサイクルセンター更新について
  - 3 その他
    - (1) 第6回ふじみまつりについて
    - (2) 次回日程
  - 4 閉会

### 配布資料

- 【資料1】 第55回ふじみ衛生組合地元協議会議事録(要旨)
- 【資料2】 ごみ搬入・灰等搬出結果(平成30年4月～平成30年9月)
- 【資料3】 平成30年度の環境測定結果(平成30年4月～平成30年9月)
- 【資料4】 クリーンプラザふじみ放射能測定実績(平成25年4月～平成30年9月)
- 【資料5-1】 リサイクルセンター更新に係る想定スケジュール(案)
- 【資料5-2】 ふじみ衛生組合リサイクルセンター更新に関する覚書
- 【参考資料】 ふじみまつり2018チラシ

【事務局】

定刻になりましたので、第56回ふじみ衛生組合地元協議会を開催いたします。皆様には、お忙しい中、ご出席をしていただき、まことにありがとうございます。

それでは、本日の資料でございますが、次第にあります資料番号のとおり事前に配付させていただきました。資料に不足はございませんでしょうか。

それでは、今後の議事進行は会長をお願いいたします。よろしく申し上げます。

【会長】

皆さん、こんばんは。お疲れさまです。それでは、ここからは私が進行させていただきます。

本日は、合計で22名、住民委員が16人、組合委員が6人ということで、22人ということでご出席いただいておりますので、会議は成立いたします。

それでは2番目の報告事項ということでございますが、第55回ふじみ衛生組合地元協議会議事録要旨について、皆さん、事前にごらんいただいているかと思いますが、何かご意見はございますでしょうか。

特にないようでしたら、これで事務局のほうから公開の手続に入りますが、よろしいでしょうか。

それでは事務局、そういうことでお願いいたします。

次に報告事項の2番目、施設の運転結果について、説明をお願いいたします。

【C委員】

それでは、お手元の資料2をお願いいたします。13ページでございます。

平成30年度4月から9月までの、クリーンプラザふじみにおけるごみ処理実績につきまして、ご報告いたします。

上のグラフをごらんください。初めに可燃ごみの搬入実績でございます。上のグラフの右下に記載のございますとおり、平成30年度4月から9月までの三鷹市の可燃ごみの搬入量は1万4,424.87トンとなり、前年度比で75.03トン、約0.5%の減、調布市の可燃ごみの搬入量は1万7,133.02トンとなり、前年度比で7.58トン、約0.04%の減となりました。また、リサイクルセンターで発生した可燃性残渣のクリーンプラザふじみへの搬入量は3,659.48トンとなり、前年度比で146.81トン、約3.9%の減となりました。

次に、小金井市からの搬入量は1,499.13トンとなりました。なお、小金井市からの搬入は、平成29年度4月分から開始され、年間3,500トンを上限として受け入れを行っております。

以上の結果、平成30年度4月から9月までの可燃ごみの搬入量は3万6,716.50トンとなり、前年度比で150.25トン、約0.4%の減となり、ほぼ前年度並みの搬入量となりました。

なお、小金井市分の搬入量を除きますと、229.42トン、約0.6%の減となり、小金井市分を除く可燃ごみの搬入量におきましても、前年度比でほぼ横ばいとなっています。

次に下のグラフをごらんください。クリーンプラザふじみの搬出実績及び発電量・売電量についてご報告いたします。

下のグラフの右下に記載のとおり、平成30年度4月から9月までの焼却灰の搬出量は3,127.31トンとなり、前年度比で7.67トンの減、飛灰の搬出量は1,133.78トンとなり、前年度比で75.16トンの増、鉄分の搬出量は111.13トンとなり、前年度比で6.28トンの増、焼却量は3万9,077.33トンとなり、前年度比で904.69トンの増となりました。

このうち焼却灰、飛灰及び鉄分の搬出量合計では、前年度比で73.77トン、約1.7%の増となり、前年度比ではほぼ横ばいとなっております。

また、発電量は2万1,395.85MWhとなり、前年度比で990.98MWhの増、売電量は1万5,604MWhとなり、前年度比で612.46MWhの増となりました。

なお、下のグラフにおきまして、焼却量並びに発電量及び売電量のグラフが下落しておりますのは、2炉あります焼却炉の法定点検により、2炉ないしは1炉を停止したことによるものでございます。

続きまして14ページをお願いいたします。平成30年度4月から9月までの、リサイクルセンターにおける不燃ごみ等のごみ処理実績につきましてご報告いたします。

一番上のグラフが三鷹市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で4,544.91トンとなり、前年度比で21.35トン、約0.5%の減となりました。

真ん中のグラフが調布市の不燃ごみ等の搬入実績でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で4,629.04トンとなり、前年度比で131.80トン、約2.9%の増となりました。

一番下のグラフが、両市の不燃ごみ等の搬入量の合計でございますが、そのグラフの右下に記載のとおり、不燃ごみ等の搬入量は合計で9,173.95トンとなり、前年度比で110.45トン、約1.2%の増となりました。

以上のとおり、平成30年度4月から9月までにおける両市の不燃ごみ等の搬入量の実績といたしましては、前年度比でほぼ横ばいとなりました。個々の搬入量の実績のうち、主なものといたしましては、三鷹市の不燃ごみの搬入量が前年度比で53.99トン、約6.5%の減となりましたが、三鷹市の不燃ごみにつきましては、ここ数年緩やかな減少が続いております。また、ペットボトルの搬入量が前年度比で35.34トン、約9.5%の増となりましたが、この夏の気候が影響しているものと思われます。

調布市におきましては、三鷹市同様、ペットボトルの搬入量が前年度比で25.21トン、約5.2%の増となりました。

続きまして15ページをお願いいたします。平成30年度4月から9月までのリサイクルセンターにおける資源物搬出及び熱回収搬出につきましてご報告いたします。

上のグラフが有償・無償の資源物の搬出状況でございます。上のグラフの右に記載のとおり、資源物の搬出量の合計では4,908.50トンとなり、前年度比で304.78トン、約6.6%の増となりました。

個々の資源物の搬出のうち主なものといたしましては、右側から3つ目の容リ・プラスチックの搬出量が前年度比で239.76トン、約12.3%の増となりました。これ

はこの間の両市のプラスチックの搬入量の増加率が約2.1%の増であることを考慮しますと、リサイクルセンターにおける容器包装プラスチックの抽出が順調に行われた結果であると考えております。

次に、下のグラフをごらんください。逆有償の資源物搬出及び熱回収搬出についてご報告いたします。下のグラフの右に記載のとおり、搬出量の合計は3,726.48トンとなり、前年度比で143.86トン、約3.7%の減となりました。

以上の結果、平成30年度4月から9月までの資源物等の総搬出量は、右下に記載のとおり8,634.98トンとなり、前年度比で160.92トン、約1.9%の増となりました。

平成30年度4月から9月までのごみ処理実績の報告は以上でございます。

#### 【会長】

ありがとうございました。

ただいまのC委員からの説明について、ご質問のある方、お願いいたします。

ないようですので、先に進ませていただきます。

環境測定結果について、E委員のほうからお願いいたします。

#### 【E委員】

それでは16ページをおあけください。平成30年度環境測定結果でございます。前回は7月23日に地元協議会が開催されておりますので、それ以降のご報告でございます。

まず一番上の囲みのところですが、7月の2号炉は年次点検のため休炉しておりましたが、8日に立ち上げをしております。

続きましてその次の枠、排ガス測定のところでございます。こちらにつきましては6月以降のご報告となります。

まずばいじんにつきましては0.001g/m<sup>3</sup>N未満でございました。それから硫黄酸化物につきましては、6月の1号炉の3.5ppmが最高値でございました。続きまして塩化水素につきましては、同じ6月の1号炉、1.8ppmが最高値でございました。続きまして窒素酸化物につきましては、8月の2号炉の41ppmが最高値でございました。それから、鉛とカドミウム、亜鉛につきましては、いずれも0.004mg/m<sup>3</sup>N未満でございました。続きまして水銀につきましては、8月の1号炉の0.0048mg/m<sup>3</sup>Nが最高値でございました。一酸化炭素につきましては7月の2号炉の20ppmが最高値でございました。それからダイオキシン類でございますが、7月の1号炉の0.00000018ng-TEQ/m<sup>3</sup>N以下が最高値でございました。

続きまして騒音・振動・臭気・排水の測定でございます。こちらも6月以降の測定値となりますが、騒音と振動につきましては測定の予定がございましたので、ご報告する数値はございません。続きまして臭気指数につきましては、6月が10未満でございます。排水については6月に水質基準以下という結果が出てございます。

続きまして、その下の段、周辺大気の測定でございます。こちらは7月に測定値がございまして、次のページになりますが20ページをおあけください。

上と下の段がございまして、上が施設稼働前後の変化でございまして、黄色い部分でございます。細かい数値は申し上げませんが、若干上がったたり下がったりというところはございますが、大きく見て、さほど変化はないものなのかなと思ってご

ございます。

下の段の前年度データとの比較というところも同様で、上がり下がりはあるものの、大きくいえば大きな違いはないのかなと思っております。

続きまして、16ページに戻らせていただきます。一番下の段になりまして、放射能に関する測定でございます。

上の段で、焼却灰につきましては、7月以降、いずれも不検出となつてございます。これは飛灰につきましては7月の63Bq/kgが最高値でございました。それから排ガス1号炉、排ガス2号炉、排水につきましては、休止中というのもございますが、不検出というところでございます。

それから空間放射線量率の測定でございますが、こちらも7月以降の測定でございまして、地上1メートルと地上5センチで測っておりますが、それぞれ0.08 $\mu$ Sv/hが最高値でございました。

1ページおあげいただきまして、18ページ、19ページでございますが、こちらは排ガス測定の資料をグラフ化したものでございますので、後ほどごらんいただければと思っております。

私からは以上でございます。

#### 【会 長】

ありがとうございます。

ただいまのご説明で、何か質問がある方は挙手をお願いいたします。

ないようでしたら、次の報告事項の3番目、クリーンプラザふじみの放射能について、事務局から説明をお願いいたします。

#### 【事務局】

それでは21ページをあけていただけますでしょうか。前回の会議において、今回の会議録、冒頭のページの11ページから12ページにありますとおり、G委員から提案をいただきました放射能測定結果の傾向を見るため、グラフにしたものでございます。

まず飛灰、空中を飛んでいる塵芥といいますか、ちりの類いですが、これが平成25年の開設当初は450ベクレルを超える計測値でございましたが、減少傾向が続き、今年に入って、下の茶色のほうの折れ線グラフですが、100ベクレル前後で推移しております。

ただし、毎回安定して下がっているわけではなくて、平成27年5月、あるいは平成29年5月のように、時折上昇する場合がございます。これは調布市・三鷹市内から収集あるいは持ち込まれる焼却ごみという特性がございますので、含まれている放射性物質の割合が同一ではないためではないかと推定しております。例えば溝に落ち葉がたまつたようなところから持ってきますと高くなる可能性があるという聞いております。

それから焼却灰は、当初から低い計測値で推移しておりまして、ここ数か月では不検出、ゼロではないのですが測定機器で計測できないくらい低い数値も出ております。

1ページあけていただきまして、次が空間放射線量率のグラフでございます。

これは当初から安定した数値で推移しております。測定は月に2回、地上5センチ及び1メートルでそれぞれ計測し、その計測値を16ページの表に載せて報告しています。

1メートルと5センチそれぞれの高さで測定していますが、原子力規制委員会でホームページに掲載しているモニタリングポストの高さは1メートルなので、比較しやすいように、今回は1メートルの計測値をグラフにしています。先ほど報告があったとおり、0.08マイクロシーベルトから、低いところで0.04マイクロシーベルトぐらいになっています。

計測の場所ですが、一部、23ページのイラストをごらんいただきたいと思いますが、黒色の線が東側の①の測定地点です。茶色が③の西側、左のほうです。赤が南側測定地点、緑色の一番少ない数値のところ、北側の三鷹市役所との境目の地点でございます。青はやや高い数値が出ていますが、これは大型バス駐車場の測定値を示す線でございます。

もう1ページあけて24ページをごらんください。左の写真は北側の測定地点です。センサーが1メートルの高さに置いてあるものです。本体の形は、下側にある写真のとおりでございます。放射線測定器は、アロカTCS-172Bという形式のものを使っております。

測定方法は1メートルあるいは5センチのそれぞれ計測値になっています。測定機に電源を入れまして、3分間、機器の計測値が安定するまで待ちまして、その後30秒ごとに5回計測して、その平均値を報告データとしています。測定値そのものは下の機器の左のほうに窓がございますが、ここに針とデジタルの窓が表示されます。ここで表示された数字を読み取っております。

それから、4番、測定器の制度を確保するために、毎年1回、専門業者に依頼して、校正という言葉を使っていますが、機器の調整を実施しております。この間、約1か月程度かかってしまうものですから、この間の計測については三鷹市役所の環境政策課が同型の機器を使っていますので、それを借りております。逆に、三鷹市が校正に出しているときは、ふじみ衛生組合の測定器を貸し出しています。

なお、蛇足ですが、測定器につきましては精密機器であるため、雨天の場合には翌日以降に順延して計測しています。

測定に関しては以上でございます。

次に、25ページからのピンクの資料でございますが、環境省が、放射能に関する解説資料をホームページに出しておりますので、それを抜粋しました。

次の26ページ、ご存じの方も多いと思いますが、放射能の場合、半減期という、半分ずつになっていく期間、これは必ずしも1年ではなくて、長いものと半分になるまで140億年、あるいは45億年かかるというものもございますし、短いものではラドン220だそうですが、1分程度で半分になってしまうというものもあるようです。

半減期の説明はこれをごらんいただきたいと思いますが、ご注意いただきたいのは、半減期で半分ずつ下がっていくというふうに、私などは単純なのでつい考えてしまうのですが、実際には半分の半分になりますので、最初の半減期のところで2分の1、次の半減期では半分の半分ですから4分の1になり、どんどん下がって

きますので、頭の隅に置いていただければと思います。

それから28ページでございますが、南側は路上で測っていますので、「まだゼロにならないんですか」というふうに時々声をかけられます。残念ながらゼロにはならないようです。自然の放射線がありますので、日本でも宇宙線とか地下の鉱物等から出るので、全くゼロにはならないとのことでした。

じゃあどれぐらいなのということになるかと思うのですが、右側のイラストをごらんいただくと、医療被ばくという解説があります。皆さん大体お撮りになったことがあるのではないかと思います。レントゲンあるいはCT検査をやりますと、ごらんのような数値で被ばくするそうです。

それから、次の29ページですが、いろいろ段階が出ていますが、一番少ないのが東京都、それから岐阜県、富士山頂、三朝温泉といろいろ挙がっていますが、東京都は低いのですが、新宿区にある計測値点が、22メートルの屋上にモニタリングポストを設置しているそうです。それから、岐阜県ですが、各務原市だそうです。ただ、岐阜県は花崗岩が多いそうで、そこの中に放射性物質が含まれているために、やや高目の数値が出るそうです。それから富士山頂は、かなり高度が上がってきますので、宇宙線の影響を受けるようです。3,776メートル、山頂でありますので、そこでやや高目の数値です。それから三朝温泉は、ラジウム、ラドン温泉だそうです、これでやや高い数値が出るそうです。

それから、1.05と出ているインドのケララ州という場所ですが、これはモナザイトという鉱物が非常によく産出するそうです。このモナザイトからどのような製品を作るか調べてみたところ、健康グッズでブレスレットとかリストバンドなどをつくったり、一時はやりましたが、放射線の出るバンドなどを身につけるとか、そういうものをつくっているそうです。あと、自動車用の排気マフラーの触媒にも使っているそうです。

それから30ページでございますが、放射能の単位と、下のほうはわかりにくい倍数の数値、エクサ、ペタ、テラ、ギガというような、こういう数値がつくそうですので、参考までに載せさせていただきました。

この資料は、上下巻とQ&Aで3冊組の資料で、環境省のホームページに掲載されています。これを全部印刷しますとA4バインダー3冊になりました。1冊あたり大体200ページずつ、約600ページあります。これを、今日全員にお配りするのは無理でしたので、このバインダーを、1階のロビーに置かせていただきますので、お時間のあるときにごらんいただければと思っております。

以上です。

## 【会長】

ありがとうございました。多分とても難しい話なので、説明するほうも難しかったのではないかと思います。

何か、ご質問、ご意見のある方、お願いします。

いいですか。私が質問してはいけないのかもしれないけれど、22ページのグラフで、多分0.07が、この数値でいくと中心線のように見えるのだけれど、色が重なっているわけで、非常にこのグラフを見ると見にくいんです。どこの場所でとれたの

かというのは下のところに書いてはあるのですが、これを平たく頭の中で整理して、自分で理解するには、ちょっとこれはわかりにくいなというふうに、私自身はちょっと見えてしまったのですが。

放射能の話は過剰に反応してもいけないし、正しく理解しなければいけないことなのでしょうから、何かもうちょっと、わかりやすくしたいなと思う次第です。これはこれとしていいのですが、もうちょっと解説版というような形で、何か、例えばせっかく下に絵が描いてあるので、絵が描いてあるところに対してはめ込むような形にするか、もしくはこのような込み入ったグラフの場合は、ここにプロジェクターがあるわけですし、後ろにはでっかいスクリーンもあるわけなので、この設備を使って、ポイントだけは拡大して、ペンライトでも使って、皆さんにポイントをずらさないような説明を、紙の上だけではなくて、何かやったらどうかなというふうに、今思いましたので、これは思っただけで、どう実現できるかはまた調整しなければいけないと思います。

#### 【b 副会長】

それではちょっと私のほうから、実際に原子力発電施設があった福島の状態について、若干現状をお話ししたいと思います。

たまたま機会がございまして、先週の木・金と福島のほうへ行ってきました。福島駅をおりましたところに、高さ1メートルぐらいのモニタリングポストがありましたが、その数字を見ましたら0.12マイクログラムぐらいでございましたので、東京と比べるとやはり2倍ぐらい値が高いかなと思います。

ただ、こういった数字に一喜一憂するということは全然必要なくて、年間でどれだけ浴びたのかということが健康上問題になります。ですから、福島駅前の0.12、東京と比べれば高いわけですが、それだけの空間放射線量率があったとしても、決して福島の人に健康被害があるというわけではございませんので、あわせて申し上げておきます。

それから、ちょっと本題からずれますが、7年7か月たちましたが、復興し切れていないなというところがありまして、駅前の一等地にもかかわらず、ビルの耐震補強工事が行われていたり、一等地にまだ土地があいているということで、まだまだ復興には時間がかかるようでございます。

それから、もとに戻りますが、たまたま前原子力規制委員会の田中先生のお話を聞くことができまして、田中先生のお話では、やはり当時の風向きが、南東からの風だったということがございまして、方角的に言うと北西方向の濃度がいまだに高いというようなことをおっしゃっていました。したがって、東京は南ですから、そういった点からも影響が少なかったのかなという印象を受けました。

以上でございます。

#### 【会 長】

ほかにご発言のある方はおられませんか。

では、次の報告事項、安全衛生専門委員会について、事務局からご説明をお願いします。

#### 【事務局】



これは特に資料はございませんで、口頭報告のみになります。10月16日に第19回安全衛生専門委員会が開催されました。その内容について、主なものを3点報告させていただきます。

1点目は、調布市医師会の推薦の委員が横須賀委員から井上委員に交代いたしました。2点目が、環境測定結果に関連しまして、新たな水銀除去システムについて、稼働状況、費用等について質問があり、今年度から本格稼働しまして、年間予算500万円というふうにお答えしました。なお、その費用につきましては、早目に活性炭を含むことができるようになったため、活性炭の費用が減額できたことにより、その費用と相殺する、つまりふじみ衛生組合としては予算がふえなかったという状況でございます。

3点目としまして、来年度の専門委員会の予定について、次回は来年4月22日の予定とし、そのほか6月と11月の、合計3回開催することを決定いたしております。

なお、地元協議会のスケジュールにつきましては、本日は協議事項として上げておりません。次回の会議の中で提案させていただきたいと思っております。

以上でございます。

#### 【会長】

わかりました。ただいまの報告で、何かご質問がある方、ご意見がある方はお願いします。

特にないようですので、それでは報告事項の5番目、リサイクルセンターの更新について、L委員からお願いします。

#### 【L委員】

それでは私から、リサイクルセンターの更新事業につきましてご説明させていただきます。

まず31ページの資料5-1、A4横のものでございます。こちらのスケジュール案につきましては、本年2月の地元協議会でご説明したときと同じ資料になります。

リサイクルセンターの更新につきましては、三鷹市・調布市・組合の三者で基本的事項を確認した後、基本構想の策定など、更新に向けた作業を進めることとしております。

最終の目標といたしましては、9年目である平成38年度に竣工・稼働というように、現時点においてのスケジュール案を想定しているところでございます。

次のページ、資料5-2をごらんください。このたび基本的事項を確認するため、リサイクルセンター更新に関する覚書を、三鷹市・調布市・組合の三者で、8月1日に取り交わしましたので、その主な内容をご説明いたします。

基本的事項の確認につきましては、先ほどのスケジュール表の1年目、実際は30年度になりますが、これに相当するものでございます。

内容につきまして、まず1点目と2点目につきましては、更新事業の進捗状況を勘案しながら、ふじみ衛生組合にリサイクルセンター更新事業準備室（仮称）を設置するとともに、環境影響評価や事業者選定などのスケジュール、既存のリサイクルセンター東棟、北棟を含む施設の耐用年数などの諸条件を総合的に勘案した結果、おおむね平成38年度の稼働を目標に施設整備を進めることといたしました。

3点目でございますが、更新後のリサイクルセンターで処理するごみの品目につきましては、当面は現在と同様、調布市のびん・缶を除くものとし、将来的なあり方については必要に応じ検討・協議を行います。また、処理対象ごみについては、収集方式や分別の統一化を図るものとしたします。

4点目でございますが、処理システムにつきましては、今後の技術革新の動向を見きわめながら検討してまいります。

5点目でございます。市民参加及び情報公開につきましては、市民の皆様のご理解が不可欠と考えておりますので、適切な手法を検討しながら、積極的に進めてまいります。この地元協議会でも、適時適切にご意見を頂戴したいと考えております。

6点目でございますが、三鷹市・調布市の費用負担と職員体制についてでございます。

7点目につきましては、リサイクルセンターの更新、運営につきましては、効率的で質の高い公共サービスを提供するため、民間の資金、技術等の活用を含め、多角的に検討してまいります。

リサイクルセンター更新に関する覚書については以上でございます。今後も、地元協議会の皆様に適時ご報告し、ご意見をいただきながら、更新に向け検討を進めてまいります。

以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告でご質問のある方、お願いします。

G委員、どうぞ。

【G委員】

1ページの表なのですが、私どもが一番関心があるのは、やはり終わりから5行目ぐらいですか、暫定処理のことですよね。その後、少し時間がたったのですが、何か私どもに報告していただけるようなことはあるでしょうか。

【b副会長】

更新期間中もごみの処理をしなければならないということが、私どもとしまして最大の悩みでございまして、暫定処理については、この敷地の中で全ての品目を処理することは難しいだろうということで、今、近隣の自治体、民間を含め、工事期間中のごみを処理していただけるところを探しているような状態でございます。

それが解決しませんと、なかなかこの先進みませんので、今はその辺を模索しているという状況でございます。

【会 長】

G委員、よろしいですか。

【G委員】

その上に、「暫定処理設計・施工」というのがありますよね。これは全部とは言わないまでも、ある部分は自分のところの敷地、もしくは調布・三鷹の市内のどこかでやろうということですよ。これについては何かございますか。

【b副会長】

具体的な暫定施設については、まだ検討する段階には至っておりません。実際にごみのごみを自分たちで処理しなければならないのかということを検討した上で、初めて暫定施設の内容、規模等が決まってまいります。したがって、暫定施設が単なる保管・積みかえ施設でいいのか、または暫定施設とはいえ、この組合の敷地内で処理をしないといけないのか、その辺も含めまして、今後の検討課題と考えております。

【会 長】

追加の質問はよろしいですか。

【G委員】

まだほとんど進んでいないということですね。

【b副会長】

そうです。

【会 長】

多分、これが進んでくると、時間が多分8時半になっても終わらないぐらい、議論が出てくるんじゃないかなと。いろいろ質疑応答が激しく出てくるんじゃないかなと思います。

ほかにないようでしたら次に進みますが、その他ということで、よろしいですか。では、その他ということで。

【L委員】

それでは私から、ふじみまつりについてご報告させていただきます。資料最後の34ページ、ふじみまつりのチラシをごらんください。

第6回目を迎えますふじみまつりは、11月25日、日曜日、午前10時から午後2時半に開催いたします。今回につきましても、地元住民の皆様やJAXA、警察署、消防署、協力企業など、多くのご出展をいただく予定です。ぜひ皆様も足をお運びいただければと思います。

なお、組合及び三鷹市・調布市では、薬剤師会の協力を得まして、12月に体温計・血圧計などの水銀含有製品の回収キャンペーンを今、企画しているところでございます。もしこのキャンペーン、具体化いたしましたら、ぜひともふじみまつりにおきましても、このキャンペーンの周知・啓発を行ってまいりたいと考えております。

来場者の皆様楽しんでいただき、身近で親しまれる施設とするため、実行委員会を重ね、お祭りの充実を図ってまいりました。これまで委員としてご協力をいただきました地元協議会会長、a副会長、I委員、G委員、J委員へ、この場をおかりして感謝を申し上げますとともに、今後ご協力をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

【会 長】

もうあと1か月ちょっとで、6回目というふじみまつりのお知らせでございました。この中におられる方にもたくさんご協力いただくことになったと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

ご質問がありましたら、よろしいですか。

ないようですので、では次回日程ということで、事務局のほうからお願いいたします。

【事務局】

それでは次回の予定に入らせていただきたいと思います。今年度の年間スケジュールでは、次回は11月としておりますが、緊急の案件がないことと、12月末現在の第3四半期のデータの報告ができる時期と考えまして、年末年始の期間がありますので、大分先になるのですが2月4日の月曜日、または5日の火曜日でいかがでしょうか。

【会長】

それでは、都合の悪い方、2月4日、月曜日。来年の話だからちょっとぴんこないね。4日、ご都合の悪い方はおられますか。

【a副会長】

第1月曜日は、先約があります。

【会長】

じゃあ、a副会長がだめだというから、5日の火曜日でよろしいですか。

【I委員】

私、予定が入っています。

【会長】

じゃあ、同数になったから、もう1週間ずらしますか。

【事務局】

事務局としましては、先ほど申し上げた第3四半期のデータの整理の関係で、2月4日以前ですと事務的につらいのですが、翌週なら大丈夫です。

【会長】

じゃあ12日でいいですか。12日、ご都合が悪い方。火曜日です。

まあ、わからないよね。それが実感だと思いますが、具体的な都合が悪いという意見が出なかったので、12日にしましょう。火曜日。

【事務局】

では、12日の火曜日ということで準備をさせていただきます。ありがとうございました。

【会長】

ほかに。さかのぼっても結構です。何かご意見がある方がおられましたらお願いいたします。

【K委員】

クリーンセンターの跡地の進行とか何かというのは、どういうスケジュールでどういうふうに今動いていらっしゃるのか。近所の方がやはりすごく興味を持っていらして、どういうものができるかとよく聞かれるのですが、何にも答えようがなく。何かちょっとでも進展とか、何かありましたら教えていただきたいと思います。

【会長】

ここは場がちょっと違うというところがあって。それから、責任を持って答えるべき人がいないので、このマイクを通さないのだったら、私もある程度話せるんですけど。

【K委員】

じゃあ今度、個人的に。(笑)

【b 副会長】

調布市のクリーンセンター跡地の利用ですね。

【K 委員】

はい。なかなか、聞くチャンスがどなたもないものですから。今度、長友市長に聞こうと思います。

【会 長】

連合会の幹事会に来ていただいても結構ですから。

【K 委員】

あ、そうですか。

【会 長】

一応そういう質問があったことだけ、ちょっとメモっておきますが、調布市の事業ですので、地元協議会では答えられる人がいないので、ご了解ください。

ほかに何か。

【A 委員】

それでは1つだけ。リサイクル更新事業準備室というのはいつごろつくられるのでしょうか。

【b 副会長】

それでは資料5-1のスケジュール案をごらんいただきたいと思います。左側に一つ一つ、やっていくべき内容が書いてございます。一番上が基本的事項の確認、一番下が稼働まで書いてございます。

それで、更新準備室の設置でございますが、施設整備の検討がある程度終わってからはなろうかと思っておりますので、このスケジュール案からいいますと上から4番目、施設整備詳細検討、これの検討結果が出るか出ないか、そういったタイミングになろうかと考えているところでございます。

【会 長】

ということは3年目から4年目。そこを目指して、多分説明もどんどん出てくるだろうと思いますし、我々のほうからもまた、具体的な質問事項や疑問が湧いてくるのではないかなと思います。

【b 副会長】

いずれにいたしましても今後、基本構想の策定、基本計画の策定、詳細の検討というステップを踏んで、施設整備の更新の検討を進めてまいりますので、そういったものの案ができれば、地元協議会の皆様にも一つ一つご報告して、ご意見をいただこうと考えておりますので、よろしくお願いたします。

【会 長】

とりあえずよろしいでしょうか。

その他のその他で、まだ何かご意見があれば。

【H 委員】

この、被ばくの線量のこと、1時間当たり航空機、東京・ニューヨーク間、1時間で7.4マイクロシーベルトって、すごくショックなんですけど。これ、乗って

いる分には、乗っている飛行機内は全然関係ないんですよ。乗っていてもこれだけ浴びちゃうんですか。

【b 副会長】

これは乗っている方が浴びる数字でございます。ただ、航空機に1年365日は乗っていないと思いますので、こういったものを積算いたしましても、健康に影響を与えるような数字にはならないということでございます。

【会 長】

多分、こういう数字がまたひとり歩きをするのかもしれませんがね。ないに越したことはないのしょうけれど。

それでは、ほかになれば、これで地元協議会を閉会としたいと思いますが、よろしいでしょうか。どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

— 了 —